

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 2 月 28 日 (2013.2.28)

【公表番号】特表 2012-514774 (P2012-514774A)

【公表日】平成 24 年 6 月 28 日 (2012.6.28)

【年通号数】公開・登録公報 2012-025

【出願番号】特願 2011-545459 (P2011-545459)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/60 (2006.01)

B 4 3 L 1/10 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 B 1/10 (2006.01)

G 0 2 B 5/32 (2006.01)

G 0 2 B 5/26 (2006.01)

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

G 0 2 B 5/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 21/60 Z

B 4 3 L 1/10

G 0 2 B 5/30

G 0 2 B 1/10 Z

G 0 2 B 5/32

G 0 2 B 5/26

G 0 2 B 5/02 B

G 0 2 B 5/02 C

G 0 2 B 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 7 日 (2013.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 前部及び後部主表面を有する書き込み部材であって、前記前部主表面が乾式消去面として使用されることが可能であり、前記書き込み部材が実質的に透明である、書き込み部材と、

(b) 前記書き込み部材の前記後部主表面上に配置される投射部材であって、

(1) 光を、第 1 の視野角 A_H で第 1 の方向に散乱し、第 2 の視野角 A_V で前記第 1 の方向と直交する第 2 の方向に散乱し、 A_H / A_V は、少なくとも約 2 である、非対称光学ディフューザーと、

(2) 前記非対称光学ディフューザーによって散乱されない光を反射する実質的に鏡面反射性の反射鏡と、を備える、投射部材と、を備える、通信物品。

【請求項 2】

前記書き込み部材の前記前部主表面は、接触スタイラス表面計によって測定される時、 $60 \sim 1000$ の範囲である所定の平均表面粗さ R_a を有する、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記非対称光学ディフューザーは第 1 の材料内に複数の細長構造を備え、前記細長構造は概して前記第 2 の方向に沿って配向される、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 4】

前記非対称光学ディフューザーは実質的に偏光非感受性である、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 5】

前記鏡面反射鏡は、実質的にゼロの入射角での可視で第 1 の平均反射率 R_0 を有し、実質的に 45 度の入射角での可視で第 2 の平均反射率 R_{45} を有し、 R_0 / R_{45} は少なくとも約 1.5 である、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 6】

可視波長での、前記実質的に鏡面反射性の反射鏡の総反射率に対する鏡面反射率の比率は、少なくとも約 0.7 である、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の通信物品と、

第 1 の方向に概して沿って像面上に画像光を投射する画像投射光源であって、前記第 1 の方向は、水平方向と θ_1 の角度をなす、画像投射光源と、

水平方向と角度 θ_2 をなす第 2 の方向に概して沿って周辺光を放つ周辺光源と、

前記像面に配置され、水平方向に沿った第 1 の視野角 A_H と、前記水平方向と直交する垂直方向に沿った第 2 の視野角 A_V とを有する、非対称光学ディフューザーであって、 A_H / A_V は少なくとも約 2 であり、 $A_V / 2$ は θ_1 を超え、かつ θ_2 未満である、非対称光学ディフューザーと、

前記非対称光学ディフューザーによって散乱されない光を反射し、約 θ_1 の入射角の可視で第 1 の平均反射率 R_1 と、約 θ_2 の入射角の可視で第 2 の平均反射率 R_2 とを有する、実質的に鏡面反射性の反射鏡であって、 R_1 / R_2 は少なくとも約 1.5 である、実質的に鏡面反射鏡と、を備える、投射システム。